

募集要項

平成 30 年 10 月

全国事務局：一般社団法人 環境パートナーシップ会議

はじめに

■趣旨・目的

環境省では、様々な職種の社会人を対象に、環境保全や地域づくり等に取り組んでいる団体の現場で、地域のSDGsをテーマにしたフィールドワーク型研修を実施します。

研修では、「仕事や個人の時間を通じて社会貢献がしたい」、「社会のために何か挑戦したい」という思いをもった人たちが、地域との出会いや議論を通じて、その思いを実現させ、社会変革の担い手になっていくことを期待しています。

研修は、事前研修、現地研修、事後研修で構成され、現地研修は北海道、広島県、愛媛県の3つのコースから1か所へ、1泊2日で参加して頂きます。

■研修内容

―地域と出会う

故郷や、住むまちとは異なる地域と深くつながるチャンスは、なかなかありません。それぞれの地域には、そのまちを、安心して心豊かに暮らせる持続可能な地域にするため、頑張っている魅力的な人たちがいます。1泊2日の研修で、地域の自然環境や文化、解決しようとする課題、課題に取り組む人と、多くの出会いが待っています。

―地域を学ぶ

魅力的な地域も、環境問題を含む多くの社会課題を抱えています。現地研修は、心豊かに暮らせる地域づくりに切磋琢磨している地域の人たちが講師となり、地域と一緒に歩き、地域のお話をして頂きます。東京での事前研修では、地域に入る際の視座や、研修地域の事前学習を行い、事後研修では3コース全ての研修生が集い、それぞれの学びを共有します。全身で地域を感じ共に考える、学び多き時間となるでしょう。

―地域と協働する

地域との関わり方は多様にあります。地元企業の新規事業の展開や、都市部などの企業による地域連携事業開発、また、個々の得意分野を活かしたボランティアやプロボノなどサポーターとしての関わり方もあります。研修を通じて、個人として組織として、「地域と一緒に何が出来るか？」を共に考える、研修の構成になっています。

■対象者および参加条件

- ・研修地域もしくは首都圏在住（在勤も可）の会社員（おおむね35歳以下を想定）
- ・個人もしくは組織人として、地域社会課題を解決し、社会を変革したい思いがある方
- ・事前研修（東京）、現地研修（地方）、事後研修（東京）の全てに参加ができる方

■募集人数

北海道コース10名、広島県コース10名、愛媛県コース10名

■応募方法・締切 ※詳細は13ページをご参照ください。

平成30年11月20日（火）正午 締切り

Webエントリーフォームよりお送りください。

エントリーフォーム：https://epc.or.jp/pp_dept/entry-sdgs-academy

お問合せ先：一般社団法人環境パートナーシップ会議

sdgs-academy@epc.or.jp（担当：江口、藤本）

■事業主体

環境省

■運営事務局

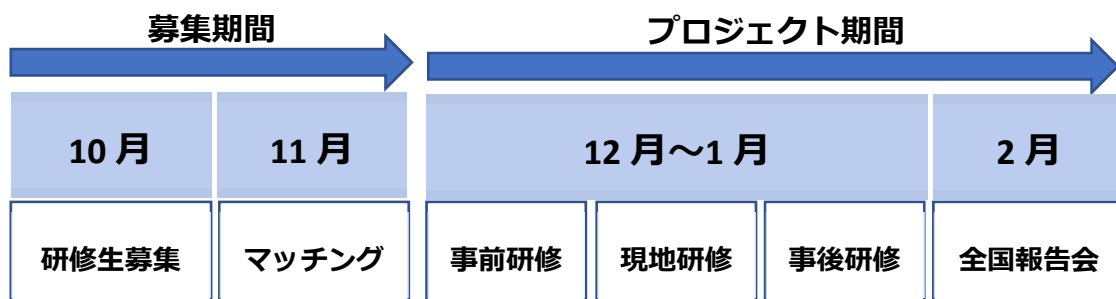
全国事務局：一般社団法人環境パートナーシップ会議

北海道 事務局：公益財団法人北海道環境財団

広島県 事務局：特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

愛媛県 事務局：特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク

スケジュール



プロジェクト期間 スケジュール

内容	対象者	日時	場所	頁
事前研修	全員	平成 30 年 12 月 1 日 (土) 13:00-18:00	TKP 渋谷カンファレンスセンター カンファレンスルーム 8A	4
現地研修	北海道コース生	平成 30 年 12 月 8 日 (土) -9 日 (日)	北海道余市町	5-6
	広島コース生	平成 30 年 12 月 15 日 (土) -16 日 (日)	広島県安芸太田町	7-8
	愛媛コース生	平成 31 年 1 月 5 日 (土) -6 日 (日)	愛媛県宇和島市	9-10
事後研修	全員	平成 31 年 1 月 26 日 (土) 13:00-18:00	地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)	11
全国報告会	各コース参加者 数名の方に、研修成果のご報告をお願いさせていただきます。	平成 31 年 2 月 17 日 (日) 13:00-17:00 ※時間変更の可能性が有	都内会場	12

事前研修

目的：現地研修を通じて、地域社会における環境・社会課題から SDGs を捉え、地域社会に対して自らのスキルを活かせる人材になるための準備を行う。

平成 30 年 12 月 1 日（土）13:00-18:00

TKP 渋谷カンファレンスセンター カンファレンスルーム 8A

行程	プログラム
13:00	受付開始
13:20	SDGs ローカルーアカデミー趣旨説明
13:30- 14:00	アイスブレイク・自己紹介
14:00- 14:50	環境・社会課題を通じた SDGs、ESD の理解（講義形式）
	休憩
14:50- 16:10	地域に入るときの視座（講義・ワークショップ形式）
16:10- 16:50	各コース説明 ※コースごとに分かれて説明
	休憩
17:00- 17:50	研修生の研修計画（現地研修で何を学びたいか目標をたてる時間）
17:50- 18:00	連絡事項

※プログラム内容は多少変更の可能性がございます。

北海道コースの紹介

■ 現地研修日時

平成 30 年 12 月 8 日（土）～12 月 9 日（日）

■ 訪ねる地域：余市町

余市町は、北海道の西部、積丹半島の東の付け根に位置する、人口約 20,000 人の町です。町の北側は日本海に面し、他の三方はゆるやかな丘陵地に囲まれています。行政面積は 140.59 平方キロメートルで、これは東京都区部の世田谷区、大田区、品川区を合わせた面積に相当します。余市町は、ニシン漁により発展し町の基礎を築いてきましたが、ニシンは昭和 29 年の漁を最後に余市湾への回遊が途絶え、今では「幻の魚」となっていました。現在はえびやいか、かれい漁などが盛んに行われており、また、リンゴ、ブドウ、梨などの生産では全道一を誇っています。身欠きニシンや燻製など各種の水産加工製品、ワインやウイスキーの醸造業も盛んです。

■ 研修開催地及びアクセス

◇研修開催地：余市エコカレッジ 〒046-0002 北海道余市郡余市町登町 1863

TEL/FAX 0135-22-6666

<http://ecovillage.greenwebs.net/index.html>

◇集合場所：JR 余市駅 13 時頃に集合し、研修先の用意する車両等にて移動する予定

◇アクセス

- ・新千歳空港（千歳市）から余市町までのアクセス
新千歳空港から JR（快速エアポート・小樽駅乗換）
（約 2 時間）
- ・札幌市から余市町までのアクセス
JR で札幌駅から最寄り駅である余市駅まで約 1 時間
- ・JR 余市駅から開催地までのアクセス
研修用バスで 10 分（赤井川線で「モンガク」下車）



北海道コースの研修内容

■ 研修テーマ

サステイナブル・ツーリズムの推進に向けた拠点機能強化

■ 出会うひと・取組み

NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト（北海道）

「持続可能な暮らしと社会」の推進を目的に、環境的にも社会的にも豊かな次世代のコミュニティモデルの創造および普及啓発にかかる活動を行っています。食糧やエネルギーなど自分たちの暮らしに必要なものをできるだけ自ら作り出し地域で共有するシステムや、包括的な学びの機会を広く提供するとともに、生産者と消費者、都市と農山村をつなげることで、地域の活性にも貢献していきます。

2012年にNPO法人を設立し、余市町での活動を開始。14年に「学び舎」を建設し、15年にはクラウドファンディングにも挑戦しました。

【活動分野：持続可能な地域づくり】

WEB サイト <http://ecovillage.greenwebs.net/>

理事長 坂本純科（さかもと・じゅんか）さん
東京都出身。北海道大学農学部卒業後、札幌市環境局に勤務。2004年に退職し、2006年からエコビレッジを訪ねてヨーロッパを探訪。帰国翌年の2009年に長沼町でエコビレッジライフ体験塾を開講。2012年にNPO法人化し、拠点を余市町に移す。



■ ディスカッションのテーマ

- * 着地型観光や企業研修（インセンティブツアー等）
- * 都市と第一次産業（果樹農業、漁業等）の交流、連携促進

広島県コースの紹介

■ 現地研修日時

平成 30 年 12 月 15 日（土）～16 日（日）

■ 訪ねる地域：広島県安芸太田町

安芸太田町は広島県の北西部に位置する人口約 6,300 人の町です。広島県内では最も人口の少ない町ですが、国の特別名勝である三段峡をはじめ、町内には複数の温泉施設があり、広島県最高峰の恐羅漢では、春から秋には登山・キャンプ ZIPLINE ADVENTURE、冬にはスキー・スノーボードと 1 年を通して豊かな自然と四季の移り変わりを楽しむことができます。特に開峡から 100 周年を迎えた三段峡はフランスの旅行専門誌「ブルーガイド」で最高格付け『三ツ星』を獲得するなど、改めてその魅力と価値が再評価されています。

■ 研修開催地及びアクセス

◇研修開催地：三段峡/三段峡ホテル

〒731-3813 広島県山県郡安芸太田町大字柴木 1734

TEL/FAX (0826) 28-2308 / (0826) 28-2290

◇集合場所：原則、JR 広島駅を集合場所としています（11 時半頃予定）。

◇東京からの主要アクセス：

- ・飛行機をご利用の方

広島空港から JR 広島駅へは約 15 分間隔でリムジンバスが出発しています。

（片道 45 分程度）



広島コース研修内容

■ 研修テーマ

三段峡エコツーリズム～国の特別名勝『三段峡』をフィールドとしたエコツーリズム推進の仕組みづくり、基盤強化。

■ 出会うひと・取組み

NPO 法人三段峡-太田川流域研究会（通称：さんけん）

フィールドの中で生態系を学び、自然と人とのかかわりを共に考え、一人ひとりの価値や、人と人の繋がりの方を提案し続けます。子ども達が『ここ』で誇りをもって暮らしていける為に。

【活動分野：持続可能な地域づくり、環境、教育】

WEB サイト：<https://sanken-hiroshima.org/>



左：本宮炎氏（NPO 法人三段峡-太田川流域研究会 理事長）

右：小林久哉氏（同 副理事長）

【研修会場&宿泊先】

三段峡ホテル：

渓谷美として名高い特別名勝「三段峡」の入り口に位置し、窓から四季折々の移り変わりを感じられる老舗旅館。



■ ディスカッションのテーマ

- * 着地型観光や企業研修（インセンティブツアー等）
- * IT を活用した広報の手法
- * 組織及びプログラムの改善

愛媛県コースの紹介

■ 現地研修日時

平成 31 年 1 月 5 日（土）～6 日（日）

■ 訪ねる地域：愛媛県宇和島市

宇和島市は愛媛県西南部に位置する人口約 7 万 6 千人の町。西は宇和海に面し、入り江と半島が複雑に交錯した典型的なリアス式海岸が続き、5 つの有人島と多くの無人島があります。東側の鬼ヶ城連峰は、海まで迫る急峻さを備え、起伏の多い複雑な地形をしています。その宇和島市の北西部にある吉田町は『みかん発祥の地』としてみかん栽培には 200 年以上の歴史があり『みかん王国愛媛』の中でも、高い出荷量を誇る町です。7 月西日本豪雨災害では甚大な被害を受け、今なお復興に向け住民・ボランティアが活動を続けています。

■ 宇和島市の位置（地図、アクセスなど）

◇研修開催地：愛媛県宇和島市内（吉田町農家、木屋旅館、きさいや広場）

◇集合場所：きさいや広場（愛媛県宇和島市弁天町 1-318-16）に 12 時半頃集合予定
<http://www.kisaiyahiroba.com/>

◇アクセス：

- ・東京からの主要アクセス

羽田空港から松山空港（約 1 時間 30 分）

- ・松山空港から松山駅までのアクセス
リムジンバスで 15 分

- ・松山駅から宇和島までのアクセス
「特急/宇和海」で 1 時間 20 分

- ・JR 宇和島駅から「きさいや広場」まで徒歩 15 分（タクシーで 5 分）



愛媛コースの研修内容

■ 研修テーマ

- ・ 豪雨災害からの復興支援
- ・ 持続可能な地域再生に向けて SDGs 視点で何ができるか

■ 出会うひと・取組み

特定非営利活動法人 SO-EN

宇和島及び四国西南地域における地域活性化に取り組んでいます。地域の基盤づくりを目的に、市民参加で議論やフィールドワーク、様々な分野が連携できるような企画を行い実践しています。今後は、地域資源を掘り起こして活用していくことで、地域の再生や宇和島ブランドの再構築を目指していきたいと考えています。この度の豪雨災害では、復旧・復興のために全国のみなさまからご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。まだまだ復旧・復興の途上にはありますが、地域も人も元気な宇和島の再生に向けて頑張っていますので、ぜひ、応援してください。

【活動分野：持続可能な地域づくり】



愛媛南予環境シンポジウム・環境学習の様子（昨年度）



【宿泊先】

木屋旅館：

明治44年、創業。政治家では後藤新平、犬養毅、司馬遼太郎らが宿泊。

明治時代の旅籠の面影が残る木造2階建て。



■ ディスカッションのテーマ

- ・ 地域活性化イベントの企画、実践アイデア
- ・ イベントや企画の発信、マーケティング

事後研修

目的：現地研修での成果として、「学び」や「アクションプラン」を全ての研修生と共有し、受入団体等のフィードバックにより、学びの意味づけや、「アクションプラン」をブラッシュアップする。事前研修で立てた研修目標の達成を振り返る。

平成 31 年 1 月 26 日（土）13:00-18:00 / GEOC

行程	プログラム
13:00	事後研修の趣旨説明
13:20	アイスペイク
13:40 - 16:40	現地研修での「学び」や「アクションプラン」をチームごとに発表
	休憩
16:50 - 17:50	研修目標の達成を振り返り
17:50 - 18:00	連絡事項

※プログラム内容は多少変更の可能性がございます。

*レポート作成

- ・現地研修後レポートを作成し、平成 31 年 1 月 20 日（日）までに、全国事務局へデータで提出。
- ・事後研修にて参考資料として関係者へ配布。
- ・体裁は、各自 A4 サイズ、表紙・研修計画・研修報告で構成し、両面印刷 2 頁を想定。

レポート例

表紙 研修コース 所属・氏名 1	研修計画 ※事前研修で作成 したものを挿入 2	研修報告 3
-----------------------------------	--	---------------------------

成果発表会

都市と地方の交流や、自らのスキルを活かしたローカル SDGs の達成に興味のある方へ
研修参加者が研修を通じて得た学びや、アイデアを発表する機会をつくります。

日 時：平成 31 年 2 月 17 日（日）13:00-17:00

場 所：都内会場

発表者：各コース参加者の中から、当日参加可能な数名の方に、研修成果のご報告をお願いさせていただきます。

応募について

1. 対象者および参加条件

- ・研修地域もしくは首都圏在住（在勤も可）の会社員（おおむね35歳以下を想定）
- ・個人もしくは組織人として、地域社会課題を解決し、社会を変革したい思いがある方
- ・事前研修（東京）、現地研修（地方）、事後研修（東京）の全てに参加ができる方

2. 応募方法

WEBエントリーフォームからご応募ください。

エントリーフォーム：https://epc.or.jp/pp_dept/entry-sdgs-academy

お問合せ先：一般社団法人環境パートナーシップ会議

sdgs-academy@epc.or.jp（担当：江口、藤本）

3. 応募受付期間

平成30年10月30日（火）～平成30年11月20日（火）正午まで

4. 参加通知

エントリー内容を確認の上、事務局からご連絡差し上げます。

※コースとのマッチングの為、メールもしくはお電話でヒアリングを
させて頂く可能性がございます。

5. 費用

無料（ご自宅から研修場所までの交通費、現地研修時の宿泊は事務局にて手配）

※旅券等は各自ご手配頂き、事後清算させていただきます。

※食費は各自ご負担いただきます（総額5,000円程度を想定）

6. 旅行保険

研修生は旅行保険に加入頂きます。加入費用のご負担はございません。